

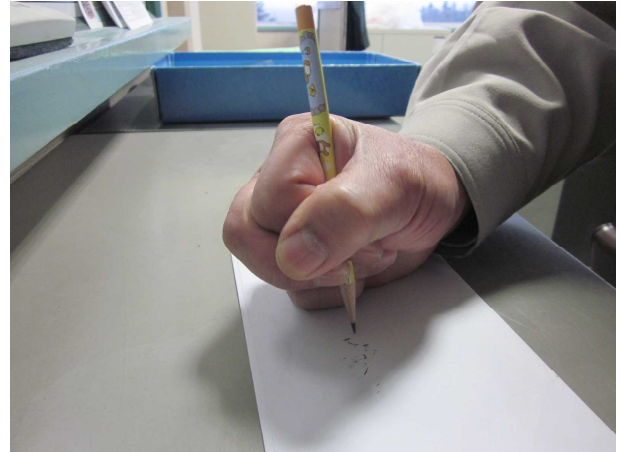
平成24年度弥彦小学校 学校だより No.14 H24.11.22

いきいき弥小っ子

今年度のキーワード「かかわる・かかわり」



こんな持ち方が多いです



自分の書いている文字が見えません

鉛筆・箸の持ち方はどうでしょうか？

校長 齋 藤 憲

ここ数年感じていることがあります。鉛筆や箸を正しい持ち方で持てない子どもたちが増えてきています。

参観日の授業や研究授業で接する子どもたちには、正しい鉛筆の持ち方ができない子がどんどん増加しています。担任から何度も注意されていると思いますが、なかなかおいそれとは直るものではありません。

昨年全国小学校長会に参加した折に、文部科学省の方より全国の校長先生方にお問い合わせと言われました。一体何を言われるのかと考えました。そのお願いが「是非、子どもたちが鉛筆を正しく持てるようにしてほしい」と言うことでした。前任校でも、教室を回る度に、鉛筆の持ち方について指導をしてきました。先生方からも協力してもらいました。今年弥彦小学校に赴任して、やはり同じ事を感じています。2学期に入り、職員の研究授業の公開があり、私の方から子どもたちの鉛筆の持ち方を話題にしました。

「正しく持てなくたって字は書ける！」という人がいるかもしれません。しかし、上記の写真のように持っていると、自分が書いている文字が見えません。そのために、書く用紙を斜めにしたり体を曲げたりしている子どもたちが多くなっています。

同じ事が箸の持ち方でも言えます。全校の子どもたちがレストランで食べていますので、なかなか指導が徹底していませんが、きちんと正しく持てる子どもたちは極少数ではないかと思っています。

ご家庭でお子さんの様子を見ていただき、正しい持ち方をするように声をかけていただきたいと思います。

「校内読書旬間」 みんな本やお話が大好き！！



11/12(月)～今日までの期間は、校内読書旬間でした。子どもたちは読書郵便で本の紹介を楽しそうに行っていました。また、15日(木)の昼休みには「やひこ絵本の会」の皆様による人形劇「三枚のお札」の上演があり、たくさんの子どもたちが視聴覚室に集まり、お話の世界に浸りました。「やひこ絵本の会」の皆様からは、朝の読み聞かせも計画的に行っていただいています。子どもたちは読み聞かせが大好きです。

「弥小フェスティバル」 手作りのイベント盛り上がりました



11/20(火)は子どもたちが待ちに待った「弥小フェスティバル」が開催されました。わかばフレンズで楽しむ全校ゲームの後、3年生以上の各学級で企画・運営した出店で楽しみました。出店を運営する側も、出店回りをする側もそれぞれにたくさんの生き生きとした笑顔が見られたイベントとなりました。保護者の皆様からもたくさん参加していただき、ありがとうございました。

「あいさつ運動」 心からのあいさつを目指しています



現在、運営委員会主催のあいさつ運動を展開中です。各学級であいさつのめあてを決めて、一生懸命取り組んでいます。あいさつはコミュニケーションの基本です。心からのあいさつが自然にできるよう、継続した取組を進めています。学校でも、**家庭でも、地域でもあいさつ**ができる子どもたちとなるよう、皆様からも温かい声かけをお願いします。